

2026年9月17日

広島大学人間社会科学研究科・文学部
考古学研究室

東広島市 長者スクモ塚第1号古墳発掘調査 現地説明会のご案内

現在広島大学考古学研究室では、東広島市西条町に所在する長者スクモ塚第1号古墳の発掘調査を実施しております。2016年からの調査の結果、広島県西部では最古級の本格的な埴輪を採用した大型の円墳（直径約40m）であることや、大規模に盛土を積み上げる墳丘構造などが明らかになりました。また昨年度からは古墳の中心部の調査にも着手し、ヤマト政権との直接的な繋がりをもつ埋葬施設の構造なども確認されつつあります。

つきましては、古墳の現地において発掘調査の成果を見学していただく説明会を実施いたします。あわせて、これまでの調査で出土した埴輪なども展示いたしますので、皆さまお誘いあわせの上、お越しいただけますと幸いです。なお、現地は足元が多少悪くなっておりますので、お気をつけてお越しください。

記

日 時：2026年9月26日（土） 13時～15時（小雨決行）

※雨天予備日…9月27日（日） 13時～15時

場 所：長者スクモ塚第1号古墳

（広島県東広島市西条町御薗宇570 広島大学西条総合運動場内に所在）

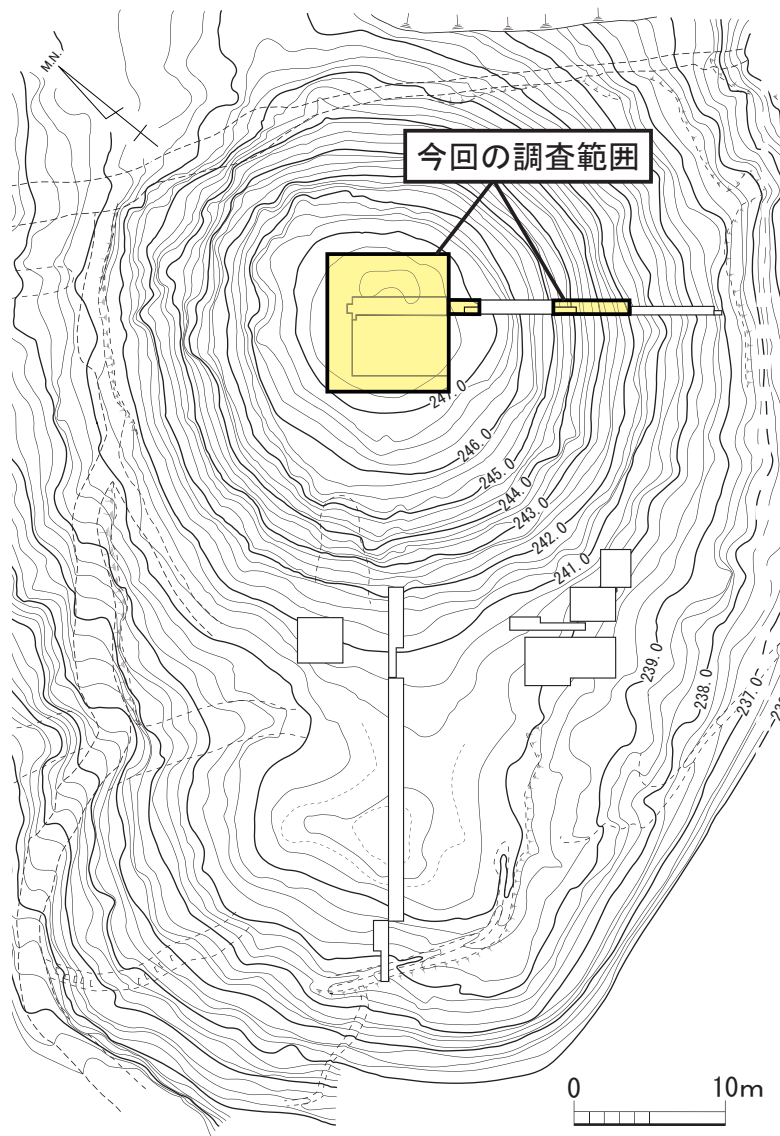
※駐車場などについては添付の地図をご覧ください。

実施主体：広島大学人間社会科学研究科・文学部 考古学研究室

（調査担当 教授：野島 永 准教授：有松 唯・上田直弥）

※お問い合わせ先：082-424-6663（考古学研究室直通）

協 力：東広島市教育委員会文化課



発掘調査の状況（昨年度までの主な成果）



- 異なる色の土を交互に用いて墳丘を盛り上げている様子
- 埋葬施設（粘土槨）に残された棒状工具の痕跡
- 逆三角形のスカシ孔をもつ円筒埴輪（2022年出土）

